

神経細胞を用いた評価をお手伝いします。

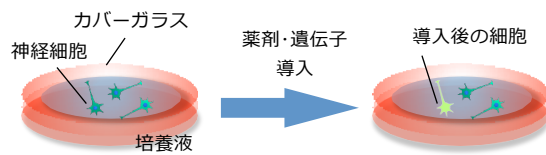
小西 慶幸 (工学系部門 生物化学工学講座 教授)

神経細胞を扱う試験・評価が得意です！

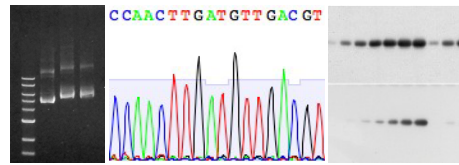
・分子生物学，細胞生物学の研究手法ならお任せください。

①神経細胞の培養，タンパク質解析

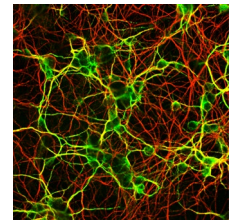
マウスの脳から取り出した神経細胞に薬剤等を投与し，細胞の生存効果や形態への影響，タンパク質の解析，免疫染色による細胞内の分子の局在解析が可能です。



< 神経細胞の培養 >



< DNAおよびタンパク質の解析 >



< 分子イメージング >

③遺伝子組み換え実験，生体内の機能解析

培養した神経細胞だけでなく，脳内の細胞を用いた解析も可能です。マウスの小脳に直接遺伝子を導入するエレクトロポレーション法は，ウイルスを使わない安全かつ簡便な評価方法です。

活用事例

・本格的な動物実験前の予備評価やスクリーニングをお手伝いいたします。

事例① 香料開発企業



エッセンシャルオイルに含まれる主要生物活性成分の神経保護機能の調査

事例② 機能性食品企業



食品由来抽出物のスクリーニング (51種類→2種類)，生存効果の定量化

事例③ 製薬企業



新規開発薬剤 (神経保護治療薬) の作用機序解析

事例④ 機能性食品材料



ウコンに含まれる成分(ar-ターメロン)のアポトーシス抑制効果の検証

キーワード

神経細胞/軸索/樹状突起/シグナル伝達/ミトコンドリア/微小管/アポトーシス/機能性因子/分子イメージング/タンパク質解析/免疫染色/遺伝子組み換え/神経変性疾患/シナプス

お問い合わせ先

福井大学 研究・地域連携推進部 研究推進課 研究総務担当
e-mail : rp-sinkou@ml.u-fukui.ac.jp

